

令和7年3月

布施学校組合立布施小学校 閉校記念誌

布施っ子の宝



～150年の感謝を込めて～

校 旗



校 章



校 歌

布施小学校歌

たけ (1944年)

作詞 藤 永 一
作曲 伊 藤 嘉 三



— 3rd 1960, Tokyo

(校歌) 1944年、昭和19年4月1日に
制定された。2011年4月に
制定された。2011年4月に

Copyright © 2011

校 歌

作詞 藤 永 一
作曲 伊 藤 嘉 三

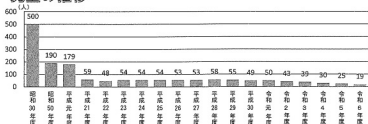
かみやくみとりはつと
をばはるしいことこの世界
松風もさわやかに
ひかりたつ ささのだい
自らのきえり 清くとも
明日の日本を 希望の泉
あふすすもう 花の春
山も平和に ちやうど
暖かに さんかく
向きの この気風
仲よく強く 愛国ついで
里のほまれと あげそわれら
福はの波は はるばると
布施は明々い 人々のを場
さんずみの いささかの
閑々るま 松風の風
光をに 眺めて 胸をひく
明日は日本を 平和に
福はの波は はるばると

学校の沿革

明治 7 年	1 月	公立車馬小学校を上野村真常寺に仮設
明治 16 年	3 月	本村 1506 番地に新校舎落成
明治 25 年	4 月	村立上野郷尋常小学校と改称 実谷村に分校場を置く
明治 42 年	4 月	有馬尋常高等小学校と改称
明治 44 年	12 月	新校舎落成現在所在地へ移転
昭和 16 年	4 月	有馬村国民学校と改称
昭和 22 年	4 月	有馬村立有馬小学校と改称
昭和 30 年	4 月	町村合併により有馬学校組合立有馬小学校と改称
昭和 35 年	3 月	学校給食室完成 給食開始
昭和 35 年	12 月	校舎設立 50 周年記念事業完了 校歌制定 学校図書館完成
昭和 37 年	8 月	校旗制定
昭和 48 年	6 月	実谷分校を廃し本校に統合
昭和 48 年	9 月	賛助会形成開始
昭和 53 年	10 月	数教科公開研究会（現開校教育委員会指定）
昭和 57 年	3 月	屋内運動場落成
昭和 57 年	10 月	よい館の優秀校として日本学校由科連会賞を受賞
昭和 58 年	10 月	富科館運動会優秀校として千葉県教育委員会教育長賞を受賞
昭和 60 年	12 月	学校給食優良校として千葉県教育委員会教育長賞を受賞
平成 元年	10 月	理科公開研究会（現開校教育委員会指定）
平成 3 年	1 月	富科館運動会優良校として千葉県教育委員会教育長賞を受賞
平成 5 年	3 月	プール落成
平成 8 年	1 月	保健体育優良校として千葉県教育委員会教育長賞を受賞
平成 11 年	4 月	千葉県教育委員会より 3 年間の学校体育研究指定校を指定される。
平成 14 年	11 月	千葉県教育委員会より学校体育優良校の表彰を受ける。
平成 15 年	5 月	千葉県人権擁護委員会表彰
平成 15 年	11 月	日本学校体育研究連合会優良校表彰
平成 17 年	11 月	千葉県教育功労者表彰 学校教育の部 団体部門受賞
平成 23 年	3 月	東日本大震災
平成 23 年	4 月	千葉県教育委員会から 3 年間の体力づくり推進校に認定される。
平成 24 年	8 月	国外ミニバスケットコート設置
平成 25 年	11 月	廊下降り止めグリーンシート設置
平成 25 年	12 月	空き缶リサイクルステーション設置
平成 26 年	11 月	千葉県教育委員会より学校体育優良校表彰
平成 27 年	1 月	大規模改修工事 機械倉庫設置
平成 27 年	12 月	体育館耐震工事 トイレ洋式化
平成 28 年	8 月	屋内運動場運動施設改修工事
平成 28 年	12 月	パソコン室エアコン工事
平成 29 年	2 月	小さな夢田運動本部よりあいさつ運動優秀賞表彰
平成 29 年	8 月	応接室及び校長室エアコン設置 教室黒板塗装工事
令和 元年	8 月	音楽室、各教室エアコン設置
令和 2 年	4 月	新型コロナウイルス感染症対策のための臨時休業（2 か月）
令和 3 年	5 月	生徒給け撤去
令和 4 年	5 月	グラウンド大規模整備
令和 5 年	5 月	グラウンド整備
令和 6 年	3 月	体育館屋根補修工事



児童の推移



*** 歴代校長紹介 ***



初代 日置 肇
昭和23年5月～昭和29年10月



2代目 吉野 純
昭和29年11月～昭和30年3月



3代目 武井 利貞
昭和30年4月～昭和30年5月



4代目 浅野 太
昭和30年6月～昭和30年3月



5代目 佐藤 浩
昭和30年4月～昭和42年3月



6代目 江澤 寛
昭和42年4月～昭和52年3月



7代目 中本 利男
昭和50年4月～昭和53年3月



8代目 小田倉 正子
昭和53年4月～昭和56年3月



9代目 谷 八郎
昭和56年4月～昭和57年3月



10代目 渡辺 秀雄
昭和57年4月～昭和59年3月



11代目 渡辺 一夫
昭和59年4月～昭和61年3月



12代目 渡辺 一男
昭和61年4月～昭和63年3月



13代目 田中 武
昭和63年4月～平成2年3月



14代目 鈴木 智
平成2年4月～平成4年3月



15代目 森 達也
平成4年4月～平成8年3月



16代目 伊賀 一夫
平成8年4月～平成9年3月



17代目 北原 洋吉
平成9年4月～平成10年3月



18代目 酒井 一雄
平成10年4月～平成17年3月



19代目 堺塚 尚
平成17年4月～平成19年3月



20代目 富田 泰広
平成19年4月～平成21年3月



21代目 三上 一雄
平成21年4月～平成24年3月



22代目 岩崎 智子
平成24年4月～平成26年3月



23代目 前森 勲
平成26年4月～平成28年3月



24代目 吉野 康彦
平成28年4月～平成31年3月



25代目 相澤 俊男
平成31年4月～令和6年3月



26代目 吉野 英樹
令和6年4月～令和7年3月



・・・ 歴代PTA会長紹介 ・・・

初代	新井 雅 昭和25年4月～昭和29年6月
2	大地 薫 昭和29年6月～昭和41年3月
3	三上 良雄 昭和41年4月～昭和43年3月
4	佐藤 高二 昭和43年4月～昭和48年3月
5	吉野 勝也 昭和48年4月～昭和53年3月
6	吉田 操 昭和53年4月～昭和56年3月
7	佐藤 寿夫 昭和56年4月～昭和57年3月
8	森 源岳 昭和57年4月～昭和61年3月
9	吉野 雅章 昭和61年4月～昭和62年3月
10	高嶋 正憲 昭和62年4月～昭和63年3月
11	植村 清美 昭和63年4月～平成2年3月
12	高橋 金幹 平成2年4月～平成4年3月
13	渡辺 徹 平成4年4月～平成5年3月
14	新井 明 平成5年4月～平成7年3月
15	石井 敏継 平成7年4月～平成9年3月
16	長田 清美 平成9年4月～平成12年3月
17	植村 正明 平成12年4月～平成13年3月
18	吉野 郁夫 平成13年4月～平成14年3月
19	伊藤 哲也 平成14年4月～平成15年3月

20	新井 千之 平成15年4月～平成17年3月
21	井上 佳之 平成17年4月～平成19年3月
22	植村 博伸 平成19年4月～平成21年3月
23	吉野 信次 平成21年4月～平成22年3月
24	永石 知功 平成22年4月～平成24年3月
25	松永 勝司 平成24年4月～平成25年3月
26	植村 博伸 平成25年4月～平成26年3月
27	榎本 成弘 平成26年4月～平成27年3月
28	渡邊 寿一 平成27年4月～平成28年3月
29	井上 広喜 平成28年4月～平成29年3月
30	佐藤 和敏 平成29年4月～平成30年3月
31	小野寺 昭彦 平成30年4月～平成31年3月
32	吉野 全利 平成31年4月～令和2年3月
33	榎本 成弘 令和2年4月～令和3年3月
34	佐藤 義之 令和3年4月～令和4年3月
35	吉田 和幸 令和4年4月～令和5年3月
36	石井 智之 令和5年4月～令和6年3月
37	井上 将士 令和6年4月～令和7年3月

※PTA発足 昭和25年～

校舎の写真・地図



西ワークスペース



3 年教習



1 年教習



學習 1 (4 年級生)



低学年座下



圖書室隣座下



第一單元



異同



1998



學友室



実ワークスペース



ランチルーム



體育部





図書室



国工室



パソコン室



音楽室



理科室



2階廊下



職員室前廊下



家庭科室



購買室



応接室



放送室



校長室



職員室



職員室



職員室



子どもたちの推しスポット

図書室



ドジルの本があるし、
たくさん本を読みたいから。

イチョウの木の下のブランコ



いちょうがきれいだから。

図書室



しずかで本がよく読める
から。

体育館



運動したり、発表したり
するところだから。

校庭のタイヤ山の上



風がとおってきもちが
よいから。

体育館



みんなとやったバレーや
バスケットが思い出だから。

タイヤ山



上るのが楽しいから。

理科室



がいこつくんがいるから。

グラウンドの イチョウの木の下の



落ち着く場所だから。

グラウンド



みんなとあそべるから。

遊具のまわり



遊具で遊んだり、友達と遊んだりする場所だから。

教室の本棚



図書室に行かなくても本があるし、勉強もできるから。

パソコン教室



パソコンが好きでパソコンを使った学習が楽しかったから。

教室



友達と一緒に楽しく過ごしたから。

西ワークスペース



1年生の時も2年生の時もべんきょうしていた教室だから。

校庭



自然豊かだから。
(イチヨウが真っ黄色できれいだから。)

体育館



みんなで楽しく遊んだから。

体育館



体育をやるところだから。

児童ホール



とても落ち着くから。

150年の



昭和13年



昭和11年



昭和50年



平成3年



令和6年

(昭和60年頃の屋外運動場略図)



ありがとう

閉校によせて

「新たな出発を祝し 布施小学校閉校に寄せて」



布施学校組合管理者
御宿町町長 原 宏

この度、明治7年1月の創立以来、実に150年もの布施小学校の校史に幕を閉じることになりました。昭和30年の昭和の大合併により旧布施村が御宿町、いすみ市（旧大原町）に分かれ、全国でも稀な2町により管理運営する組合が発足し、布施学校組合立布施小学校として生まれ変わりました。ここに長年、地域の学び舎としてこの布施小学校を、幾多の困難を乗り越え、支えてこられた地域の皆様をはじめ、教育関係者の方々に對し、そのご労苦とご努力に深甚なる経緯と感謝を申し上げる次第であります。明治・大正・昭和・平成・令和とその時代の教育方針に基づく教育によって多くの卒業生を輩出し、親、子、孫、ひ孫四代にわたり本校卒業生が当地域で活躍されていることを考えますと、本校が果たしてきた使命の重要性が改めて認識されるところであります。子供たちは令和7年4月から、新たな学校で多くの友達と学習することになりますが、本校の歴史と伝統を継承し、未来に向かい明るく逞しく成長するよう願っております。

結びに、子供たちの新たな旅立ちへ、地域の皆様のご支援を賜りますことをご期待申し上げ、閉校に当たってのあいさつといたします。

「布施小学校閉校に寄せて」



いすみ市長
太田 洋

地域の皆様から愛され続けた歴史ある布施小学校が、令和7年3月をもって閉校することとなりました。

布施地区は、源頼朝伝説の「筆かけの楨」や「名熊の二本杉」など、古の歴史遺産を有する地域であります。また、校歌には「するすみのいななきの 開こえるよ 夢の丘」というフレーズに頼朝の馬が登場するなど、布施地区の子供たちは、素晴らしい歴史や文化にふれ、地域への愛着を深めてきました。

地域住民総出で実施する運動会では、ダンス「布施っ子の宝」をみんなで踊り、秋の「布施まつり」では子供たちで栽培したサツマイモで豚汁を作って会食するなど、学校行事では、いつも地域の人々が集い、絆を深めてきたと聞いております。

地域のコミュニティの中核である布施小学校が少子化の波をうけて幕を閉じること、保護者・地域住民の方にとって、文化の柱を失うことであり、無念の思いであると拝察いたします。しかし、長い激動の時代を経て、数多くの有為な人材を輩出してきた布施小学校の教育理念は不朽であり、この学び舎で過ごしてきた多くの布施っ子たちは、学んだ精神を心に抱いて、今後、多方面で活躍することと思います。これまで御尽力いただいた歴代の校長先生はじめ教職員の方々、地域の皆様に心から感謝申し上げます。

おわりに、布施学校組合を支えてきた御宿町の皆様のご尽力に心から御礼を申し上げ、挨拶とさせていただきます。

「布施小学校閉校にあたって」



布施学校組合
教育委員会
教育長 前森 勤

広い田園の先に小高い森があり、その木々の向こうに真っ白い瀟洒な校舎が見えます。周りの緑色とのコントラストが素晴らしい。玄関付近の花壇には、先生方と児童が植えた四季折々の花が咲き誇っています。児童達が、S S Tの方と挨拶を交わしながら登校してきます。布施小学校を思う時、いつもこのような光景が浮かびます。

本校は、平成17年に「千葉県教育功労者表彰学校教育の部団体の部門」を受賞しました。学校と家庭と地域とが連携して実践してきた日頃の取り組みが評価されました。この三者が互いに協力し合う体制は、本校ならではの「素晴らしい特色」の一つであります。環境の整備等、常に保護者の皆様や地域の方々のご支援があります。しかし、時代の趨勢とはいえ、本校は児童数の減少により、統合の話は避けて通れない状況となりました。保護者の皆様や地域の方々と協議を重ねていく中で「布施小学校」に対する思いや愛校心が伝わってきました。地域の学校として、愛されてきた布施小学校は、たいへん残念ではありますが、令和7年3月末日をもって閉校することになりました。同年4月より、御宿小学校と統合になりますが、児童の皆さんは誰とでも仲良くし、益々健全に育っていかれることを願っております。

終わりになりますが、本校発展のために尽くされました教職員・保護者の皆様、これまでご支援くださいました地域の皆様に対し、衷心より、敬意と感謝を申し上げ、あいさつとさせていただきます。

「布施小学校閉校にあたり」



布施学校組合立
布施小学校
校長 吉野 英樹

布施小学校は、明治7年1月、公立上布施小学校を真常寺に仮設したのが始まりで、昭和22年には布施村立布施小学校と改称。昭和30年町村合併により布施学校組合立布施小学校（学区がいすみ市と御宿町にまたがる県内唯一の組合立学校）となりました。

校名変更や校舎設置場所を変えながら地域の皆様方に育てられ発展して参りました。そして、開校以来およそ2800名を超える卒業生を世に輩出して参りました。しかしながら、150年を終えようとする今、少子化のために閉校のやむなきに至りました。

布施小学校に勤務した教職員は、この地の自然と純朴な子供たち、地域の皆様の温かい心に触れ、教育者として、人として生きることの原点を感じ、真の教育を求めて情熱を傾けてきたものと思います。それは、この地域での生活が子供たちの心に深く刻まれ、一生忘れられない思い出となったという証でもあります。

150年の歴史の歩みの中で、皆様方に育てられた布施小学校は、教職員だけでなく、すべての人の心に「ふるさと」として深く根付いていました。閉校は寂しいですが、本校で育んだ思い出は、永遠に私たちの心に残り続けます。

最後になりましたが、本記念事業にご尽力いただいたPTAの皆様や閉校事業実行委員の皆様にご心より感謝申し上げます。今後、この地域の皆様方のご発展とご多幸を心よりお祈り申し上げます。私の挨拶といたします。

「布施小学校閉校に寄せて」



閉校事業実行委員会
委員長 吉野 正和

令和7年3月、時の流れは無常であり無情とでも言うべきでしょうか、母校である布施小学校も150年という長き歴史に幕を下ろすことになりました。

私は今の校舎で学び育ちましたが、歴史を辿ってみれば明治7年から始まり、移転と統合を繰り返し今に至っていることを知り、これまでずっと地域の皆様に支えられ成り立ってきた布施学校組合立布施小学校の素晴らしさを改めて感じております。緑に囲まれ実りある大地で子供たちが伸び伸びと育つ学びの舎。年代を超え助け合う気持ちがあったからこそ今日まで成り立ってきた、県内唯一の組合立という形態。他校にはない良さがここ布施小には沢山詰まっていたように思えます。ですが時代と共にこれからのことも違ふことを思えば今回の閉校も致し方ない決断となりました。

今回の閉校にあたり閉校事業実行委員の皆様、吉野校長先生をはじめとした諸先生方、また検討委員会の頃よりご協力下さいました保護者の皆様、先生方や教育委員会、そして地域の皆様、未熟者である私の声に耳を傾けていただき誠にありがとうございます。多くのご指導ご協力に、心より感謝を申し上げます。

これからの布施小学校が新たな形となり、未来へ発展していく一基盤となっていくことを切に願っております。

「思い出とともに」



布施学校組合立
布施小学校PTA会長
井上 得土

30年以上前に両親に手を引かれ、6年間この布施小学校に通いました。ここでは友達とともに、多くの思い出を作ることができまるで昨日のことに感じられます。今では私の子ども達が同じように、明るく楽しく元氣よく、多くのことを学び青春を謳歌しています。

私の在学当時は全校児童が100名を超えていましたが、現在は19名です。年々児童が減っていき、複式学級、そして誰もいない学年もあります。少子化の壁は厚く逆らうこともできず、惜しまれながらも閉校に至りました。

しかし、このような中でここまで良き布施小学校であったのは、歴代先生方の努力により、児童は知育、徳育、体育、食育、才育を学び、人として大きく成長していったことと思います。また、地域住民の皆様のご理解とご支援により、児童が安心安全に通ってこれました。来年度からはそれぞれの学校に分かれて通学しますが引き続きご協力いただけますようお願いいたします。

終わりに、最後のPTA会長として、布施小学校にご支援いただきました皆様に心より感謝と敬意を表しまして、閉校記念誌発行に寄せる言葉とさせていただきます。これまで本当にありがとうございます。

「布施小学校閉校にあたって」



布施学校組合議会
議長 横山 正樹

布施学校組合立布施小学校の閉校にあたり、布施学校組合議会を代表して、御挨拶を申し上げます。

布施小学校は、明治7年の創立以来、150年の長きにわたり、地域とともに歩んできました。地元の温かいご厚情のもと、校歌にある「里のほまれ」は子供たちの心に深く刻まれ、郷土愛と未来への希望を胸に抱いた卒業生たちが、数多く輩出されてきました。地域コミュニティの中心としても、地元の方々の心の拠りどころでした。関係各位にとっては、今回の閉校は断腸の思いであると拝察しますが、少子化による児童数減少の影響を鑑みると、多くの仲間が切磋琢磨できる新たな環境は、子供たちにとって重要であるといえます。学校は閉校となりますが、この学び舎で培われた郷土愛や情操の教育、そして布施小学校の歴史と伝統は、今後も夷隅地区の教育に確実に引き継がれていくものと期待しております。また、千葉県唯一の学校組合立学校の運営に際し、これまでの御宿町といすみ市の緊密な連携に敬意を表するとともに、布施地区の子供たちが、両自治体を中心とした進学先においても、伸び伸びと活躍してくれることを大いに祈念しています。

結びに、布施小学校の閉校にあたり、当校の発展のために多大なる御尽力を賜った地域や教職員の皆様方、深い愛情をもってご支援いただいた関係者各位に改めて感謝申し上げます、閉校のご挨拶といたします。

「布施小学校閉校に寄せて」



布施学校組合議会
副議長 石井 芳清

「かがやくみどりはつらつと布施は楽しいこどもの世界…」校歌は「布施」の中央に位置する布施小学校を高らかに歌いあげています。150年の歴史を数える布施村は、昭和の町村合併の際に当時の大原町と御宿町の二つの自治体に分かれ、町境に位置した布施小学校は、全国的にも稀有な異なる自治体が運営する組合立の小学校となりました。組合には一つの自治体と同様に教育委員会と議会があり、いすみ市3名、御宿町3名の6名の議員で構成されています。また学区内全ての世帯がPTA会員となり地域に支えられています。

私の入学した1960年代の校舎は、校庭の北側に位置し平屋で中学校も併設され、校庭の大きな松の木には戦時中に松脂を採取した傷跡が生々しく残っていました。好きな場所は図書室で、芝生とテラスがあり明るく気持ちのいい場所でした。議員になり小学1年生の担任の先生にお会いした時に、「この図書室で誰がたくさん本を読めるか競争しましょう」と呼びかけてくれた事を話してくれました。おかげ様で私は今でも本を読む事が大好きです。この施設が今後も布施地域にとって大切な場所であり続ける事を望んでいます。

最後に、今日まで教育振興に尽力された先生方をはじめ地域の方々に対し、限りない敬意と感謝をささげるとともに、前途のご多幸を祈念いたします。

御宿町側 区長代表
上布施区長 吉野 晴久

「布施小学校への手紙」

積み重なった時が社会に変化をもたらし、いよいよの時が来てしまいました。此処でも少子高齢化という波が、布施小学校閉校という形で押し寄せています。団塊の世代から見れば信じ難い事ながら振り返ってみますと、私が本校に入学したのは、半世紀以上前のことです。皆が等しく貧しく充分に物が無かった頃、学芸会で「ぶんぶく茶釜」や「一体さん」を演ずる為に棕櫚(しゅろ)の皮で蟹(まげ)を作り、カスリの古布で衣裳(いしょう)を縫い、放課後遅くまで練習したものでした。時には野外スケッチに夢中になり、授業時間をとくに過ぎて恐る恐る教室に戻ってみると、怒られるどころか「上手く描けましたネ。」と褒めてくれた女先生、級友が病気で長く欠席した時、心配した女先生をその子の家まで案内した事もありました。卒業生を送っては涙し、新入生を迎えては、心から歓び感性豊かなその姿は壺井栄の二十四の瞳を彷彿させる女先生でした。これまで幾多の卒業生を輩出した布施小学校、その歴史を紡いできた先人達、身を惜しまず教諭してくれた先生方、昼夜を分たず本校を支えてくれた関係者の皆さんに感謝申し上げると共に、別の学びの場に移って行く子供たちに変わる事なき教育の場を提供し続けて頂けることを願うばかりです。

おわりに、在校生の皆さんにお願いです。学業も成績も大事ですが、あなた自身の感性も大切にしてください。感性を磨き表現し、しなやかに健やかに育んで、学業成りて社会に飛び立つその時、人生のキャンパスに初めて置く色は、「かがやくみどり はつらつと」

布施つ子魂よ 永遠に。

いすみ市側 区長代表
現区長 毛利 雅一

「布施小学校の閉校に寄せて」

この度は、長きにわたる歴史の幕を閉じる布施学校組合立布施小学校へ卒業生として、地域の一人として、言葉を添えさせていただきます。私が在籍していた昭和40年代前半は、現在の校舎ができる前の木造の旧校舎を使用していました。入学したころは、校歌にも歌われた大きな松の木がグラウンドの端に何本もありました。また、同じ敷地内に布施中学校（現在は大原中学校に統合）が併設されていた時代でした。当時は休憩時間に友達と学校の敷地内を駆け回ったり、授業時間は一生けん命に勉強したり、時には友達と言い合ったりして日々を過ごしていました。どの場面も懐かしく大切な思い出の数々です。子供時代を過ごした母校がなくなるとは非常に寂しい気持ちを禁じえませんが、子供たちが元氣よく学び、遊び、地域で育まれていったことに変わりはありません。布施小学校の子供たちが、築き上げ受け継いできた「思い」と地域で育まれてきた「絆」を大切にしながら誇りを胸に、これからも過ごしていけることと思います。

末筆ながら、今後もこれまでとこれからの布施小学校の子供たちが仲間たちとともに学び、笑い合い、さらなる活躍をしていくことを願っております。また、地域が新たな形で発展していくことを祈念しております。

歴代「笹の台」「松風」「FUSE GUMI」の紹介

笹の台



文集のタイトルとなっている「笹の台」は現在の布施小学校がある土地の名称です。どの時代の「笹の台」にもそのときの子供たちの気持ちが多様な形で表現されています。

松風



松風はPTA母親会活動の一環としてスタートしたようです。当初も今と同じように子どもの事や体験記、俳句・詩集など保護者の交流や社会教育に役立っていました。



FUSE GUMI

(PTA広報誌)



手描きの原稿用紙

※ 歴代広報部のみなさまお疲れ様でした ※



当初のPTA広報誌は写真やイラスト等はないものの内容がとても興味深いものでつい読み入ってしまうものばかりでした。やがて「布施小PTAだより」は「FUSE GUMI」に代わりました（「FUSE」は「布施」から、「GUMI」は「組合立」からとったそうです）。令和3年からはカラーのものも発行されるようになりました。地域の絆が強い布施小ならではの広報誌になっていたのではないのでしょうか。



FUSE GUMI

児童数 19 名

会員家庭数 14 戸

大切な布施小のために
私たちができる事を…



閉校事業実行委員会

実行委員長	吉野 正和
	井上 将士 (PTA会長)
委員	吉野 英樹 (校長)
	吉野 由里子 (記念誌部会部長)
	吉野 全利 (式典部会部長)
	吉野 全利 (式典部会部長)

閉校式典部会



部長	吉野 全利
副部長	吉野 武
委員	石井 友子
	嶋村 勝
	小高 晴代
	渡邊 宏美
	井上 衣里子
	安田 将仁 (8年)
	長野 郁子 (4年・学習1)
	伊藤 みのり (養護)

閉校記念誌部会



部長	吉野 由里子
副部長	君塚 牧子
委員	永谷 愛
	田中 瞳
	高橋 千尋
	長谷 千香
	酒井 美千代 (教務・1年)
	鈴木 正樹 (2・3年)
	山之口 孝太 (専科)
	竹之内 梨乃 (事務)

閉校に向けてメッセージをいただきました

※撮影：令和6年12月20日

たくさんのご協力



ありがとうございました!

- ・たくさんの思い出をありがとう! 誇りです!!
- ・150年間守ってくれた先生、地域の皆さん、ありがとうございました。
- ・父、子ども達、自分も布施小にお世話になりました。たくさんの思い出をありがとうございました。
- ・淋しい限りです!!
- ・巣立っていった子供たちに幸多かれの活躍多かれと祈ります。

編集後記

令和7年3月末をもちまして、布施学校組合立布施小学校は150年の歴史に幕を下ろします。閉校にあたり、布施小学校の歴史とたくさんの思い出を残すために閉校記念誌「布施っ子の宝」を発行する運びとなりました。皆様からご提供いただいた貴重な写真や資料、ご寄稿いただいた記事により、布施小学校らしい閉校記念誌「布施っ子の宝」が完成いたしました。

これまで、多くの子供たちがここに集い、学び、巣立っていきました。本誌の編集をとおして、布施小学校が地域の皆様から愛され、地域の皆様とともに歩んできたことを改めて感じました。閉校記念誌部会の部員一人一人が感謝の思いを込めながら写真を選び、メッセージをとりまとめました。皆様の心に残していただければ幸いです。

最後に、閉校記念誌作成にご協力いただいた皆様とこれまで布施小学校を支えて下さったすべての皆様に深く感謝申し上げます。

令和7年3月
閉校記念誌部会一同

